教育・学生支援機構
教育推進部門会議
（数理・データサイエンス・AI教育推進部会）

令和６年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」自己点検・評価結果一覧（リテラシーレベル）

令和７年９月１７日

点検・評価項目（大項目）	点検・評価項目（詳細）	分析手順	担当部門等	点検結果	点検結果の理由	さらなる改善・向上に向けた計画	その他特記事項	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が適切な水準であること	教育プログラムの実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱及び同細目で定められた水準を満たすこと(リテラシーレベル)	・教育プログラムの履修・修得状況、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認する	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度の「データサイエンス入門」及び「データサイエンス・ＡＩへの招待」について履修者数、修了者数が適切であることを確認した。教育学部・経済学部では計画を上回っている。また、データサイエンス学部では全学部生が履修している。履修率向上に向けた計画と照らし、順調に進捗している。	令和３年度に策定した履修率向上に向けた計画を着実に実行する。		A-①-1_【リテラシーレベル】令和６年度数理・DS・AI認定制度対象科目開講・履修状況 A-①-2_【リテラシーレベル】数理・DS・AI認定制度申請書（抜粋） のうち、以下の内容 ・プログラムの履修者数等の実績について（申請書様式３） ・教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について（申請書様式５） ・自己点検・評価について（申請書様式６）	
		・シラバスとモデルカリキュラムの対応を確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度シラバスを確認した結果、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の要件であるモデルカリキュラムの５つの審査項目との対応関係があると認められる。	引き続きモデルカリキュラムとの対応を意識しながら教育内容を充実させる。		A-②-1_令和６年度「データサイエンス入門」及び「データサイエンス・ＡＩへの招待」のシラバス（計5クラス） A-①-2_【リテラシーレベル】数理・DS・AI認定制度申請書（抜粋） のうち、以下の内容 ・プログラムの授業内容・概要（申請書様式４－１及び４－２） A-②-2_国立大学法人滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム要項 A-②-3_国立大学法人滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム要項の取扱いに関する申合せ	
		・学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度を確認する。また、教育プログラムの学修成果や他の学生の推奨度について確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度開講の「データサイエンス入門」及び「データサイエンスへの招待（計5クラス）」の授業評価アンケート結果では、「授業はよく理解できた」、「授業には総合的に満足である」の質問に対して「強くそう思う」、「そう思う」との肯定的回答が６割程度を占め、一定の評価を得ていることを確認した。	引き続き、学生アンケートに加え、多様な手段で学修成果や他の学生への推奨度を確認し、学生の理解度を向上させる。また、本プログラムに関するアンケート結果によると、プログラム履修することにより、実際に社会において活用できる数理・データサイエンス・AIの知識・スキルが身に付いたと実感している学生はやや少ない傾向もあり、引き続きプログラムの教育内容のさらなる充実を図る。	就職活動などで、数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身に付けたことを企業等へ証明するものとして、オープンバッジ（電子修了証）発行の取り組みを開始した。	A-③-1_令和６年度授業評価アンケート分析（リテラシー科目） A-③-2_数理・DS・AI教育プログラムバッジ一覧表 A-③-3_オープンバッジ発行状況（リテラシーレベル） A-①-2_【リテラシーレベル】数理・DS・AI認定制度申請書（抜粋）（再掲） のうち、以下の内容 ・自己点検・評価について（申請書様式６）	
		・教育プログラムの修了者の進路・活躍状況、産業界等外部からの評価を確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会				本プログラムは令和２年度から開始し、令和３年度については修了者がまだ卒業していない。そのため、具体的な進路・活躍状況等の確認については実施していない。		

○…「点検・評価項目」とその「分析手順」の内容を満たしている
△…「点検・評価項目」とその「分析手順」の内容を満たしているものの、改善の余地がある。
×…達成できていない

教育・学生支援機構
教育推進部門会議
（数理・データサイエンス・AI教育推進部会）

令和６年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」自己点検・評価結果一覧（応用基礎レベル）

令和７年９月１７日

点検・評価項目（大項目）	点検・評価項目（詳細）	分析手順	担当部門等	点検結果	点検結果の理由	さらなる改善・向上に向けた計画	その他特記事項	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が適切な水準であること	教育プログラムの実施状況及び改善・向上に向けた取り組みの実施状況が数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度実施要綱及び同細目で定められた水準を満たすこと(応用基礎レベル)	・教育プログラムの履修・修得状況、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認する	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度の各学部の応用基礎レベル対象科目について、履修者数を確認した。学部によって履修率に差が大きいが、教育学部はほぼ想定どおりであり、経済学部は計画をやや上回っている。また、データサイエンス学部では全学部生が履修している。履修率向上に向けた計画と照らし、順調に進捗している。 なお、令和６年度は各学部から計103名の修了者を輩出した（教育:6名、経済:8名、DS:89名）	令和４年度に策定した履修率向上に向けた計画を着実に実行する。		B-①-1_【応用基礎レベル】令和６年度数理・DS・AI認定制度対象科目開講・履修状況 B-①-2_【応用基礎レベル】令和６年度数理・DS・AI認定制度対象科目開講・履修状況（各科目） B-①-3_【応用基礎レベル】数理・DS・AI認定制度申請書（各学部） のうち、以下の内容 ・履修者等数の実績（申請書様式３） ・教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画（申請書様式４） ・自己点検・評価（申請書様式５）	
		・シラバスとモデルカリキュラムの対応を確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度シラバスを確認した結果、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の要件である３つの基本的要素について、モデルカリキュラムとの対応関係があると認められた。	引き続きモデルカリキュラムとの対応を意識しながら教育内容を充実させる。		B-②-1_令和６年度応用基礎レベルカバレージ（各学部） B-②-2_令和６年度応用基礎レベルカリキュラムツリー（各学部） B-②-3_令和６年度応用基礎レベル授業科目表（各学部） B-②-4_令和６年度応用基礎レベル科目シラバス B-①-3_【応用基礎レベル】数理・DS・AI認定制度申請書（抜粋）（再掲） のうち、以下の内容 ・プログラムを構成する授業科目（様式２）	
		・学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度を確認する。また、教育プログラムの学修成果や他の学生の推奨度について確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会	○	令和６年度開講の各学部の応用基礎レベル対象科目について授業評価アンケート結果を確認した。授業評価アンケート結果では、「内容に関する興味がわき、さらに勉強したいと思った」「授業には総合的に満足である」の質問に対して「強くそう思う」、「そう思う」といった肯定的回答が６割以上を占めた。また、学生からのコメントもをふまえ、学生からの評価を得ていることを確認した。	引き続き、学生アンケートに加え、多様な手段で学修成果や他の学生への推奨度を確認し、学生の理解度を向上させる。	就職活動などで、数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身に付けたことを企業等へ証明するものとして、オープンバッジ（電子修了証）発行の取り組みを開始した。応用基礎レベルについては、「科目修得バッジ」「レベル修了バッジ」をそれぞれ発行しており、知識・スキルの体系化を目指している。	B-③-1_令和６年度授業評価アンケート分析（応用基礎科目） B-③-2_オープンバッジ発行状況（応用基礎レベル） B-①-3_【応用基礎レベル】数理・DS・AI認定制度申請書（各学部）（再掲） のうち、以下の内容 ・自己点検・評価（申請書様式５）	
		・教育プログラムの修了者の進路・活躍状況、産業界等外部からの評価を確認する。	数理・データサイエンス・AI教育推進部会				本プログラムは令和３年度から開始し、令和４年度については修了者がまだ卒業していない。そのため、具体的な進路・活躍状況等の確認については実施していない。		

○…「点検・評価項目」とその「分析手順」の内容を満たしている
△…「点検・評価項目」とその「分析手順」の内容を満たしているものの、改善の余地がある。
×…達成できていない